

地域公共交通における便数に配慮した運行への支援：5,300 万円

○燃料油価格高騰の中、便数を維持して運行に取り組む地域公共交通事業者を支援

農林水産事業者への支援：9.3 億円

- 農業：施設園芸の省エネ機器や生産コスト低減機器等の導入を支援
- 畜産業：粗飼料価格の高騰に苦しむ酪農家へ一時支援金を支給。鳥インフルエンザ等の発生リスクに対応できるよう、防鳥ネットや金属フェンスの改修等を支援
- 水産業等：水産加工業者向け「豊かな海づくり資金」を拡充。光熱費等の高騰に加え、原材料高に苦しむ水産加工業者を支援するため、光熱費や原材料購入費に使える運転資金の貸付限度額の拡充、貸付利率の低減



新型コロナウイルス感染症5類移行への対応

医療ひっ迫時の高齢者施設等への支援体制の確保：700 万円

- 高齢者施設等において、大規模クラスター発生時に対応が困難になる場合等に備え、施設の支援体制を確保
- ・往診医師等確保支援相談窓口（仮称）の設置 ・往診応援医療機関への協力金の支給

下水サーベイランス実証実験の実施：1,000 万円

- 感染動向を把握するため、下水中に含まれるウイルスの検出・分析などを行う実証実験を実施

ICTを活用した感染拡大の前兆把握：300 万円

- 感染拡大の兆しを早期に把握するため、ICTを活用した分析手法を検討

YouTube



ミノルチャンネル



Facebook



Instagram

北野実
プロフィール



公式サイト

1959(昭和34)年7月19日生 A型
姫路市立東小学校 / 姫路市立東光中学校
兵庫県立姫路西高校 / 立正大学経営学部
姫路野球協会会長 / 自民党姫路支部幹事長

姫路市議会議員：(H15～)
兵庫県議会議員：(H19～)
好きな言葉：不易 流行
ふえきりゆうこう



兵庫県議会議員
北野実
きたのみのる

No.26 令和5年7月

県政レポート
実の目

発行所：北野実事務所

4月30日、県議会の新任期がスタートしました。5月16日、第362回臨時議会が開会し、早速、議長選挙を行い、我が会派、自由民主党議員団の内藤兵衛議員が議長に選任されました。閉会日の5月19日には、常任委員会の選任が行われ、私は健康福祉常任委員会に所属することになりました。「がんサバイバー議員」として、今までとは違う経験者の目線で、健康福祉の向上に更に取り組みます。



6月7日には第363回6月定例会県議会が開会し、令和5年度6月補正予算案等が上程されました。議会審議を経て閉会日の19日、原案通り可決しました。県民生活に直面する物価高騰への対応など安全・安心の取組は待ったなしです。緊急対策としての6月補正予算における主な事業を報告いたします。新任期の決意を新たにしつつフル稼働で「本気でヤル気」で行動し、齋藤元彦県政との強い信頼関係のもと「躍動する兵庫」を実現、新しい時代の兵庫・姫路を切り拓いて参ります。

兵庫県議会議員 北野実

新任期スタート 6月補正予算を可決

令和5年度6月補正予算は、物価高騰等に直面する生活者・事業者に対する支援を実施するとともに、5月8日からの新型コロナウイルス感染症5類移行に対応するため編成されました。

予算規模：164.1 億円 次の3つの柱で緊急対策を実施します。

県民生活の安定化に向けた支援

- 物価高騰の影響に直面する県民生活を支援するため、ひょうご家計応援キャンペーンを実施
- 光熱費等高騰の影響を受ける社会福祉施設、私立学校、病院等を支援することで利用者負担の増加を抑制

事業者の経済活動への支援

- 国の電気・ガス価格激変緩和対策の対象とならない特別高圧電力で受電する中小企業等へ支援を実施
- 燃料油価格高騰等による農林水産業のコスト増加を緩和するため、業種に応じた必要な支援を実施

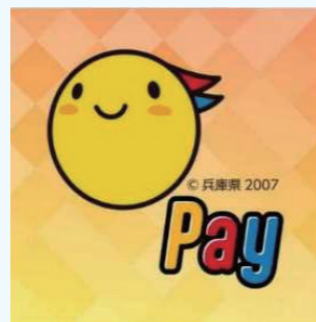
新型コロナウイルス感染症5類移行への対応

- 5月8日からの新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、医療ひっ迫時の高齢者施設等への支援体制の確保
- 下水サーベイランス実証実験の実施、ICTを活用した感染拡大の前兆把握など新たなフェーズにおける必要な体制構築

県民生活の安定化に向けた支援

ひょうご家計応援キャンペーン プレミアム付 デジタル券「はばタン Pay + (プラス)」: 53.4 億円

- 食料品等の値上がりを踏まえ、家計を応援するため、スーパー等の小売店、飲食店などで幅広く使えるスマホアプリ〔はばタン Pay + (プラス)〕を活用した家計応援事業を実施
- ・対象店舗：スーパー、コンビニ、ドラッグストア、書店、家電量販店、飲食店、直売所等（今後、募集予定）
- ・募集開始 R5.8月〔予定〕
- ・利用期間 R5.9月～R6.2月（約6ヶ月）〔予定〕



☆一般枠とプレミアム率が高い子育て応援枠を設定

一般枠		Pay + プラス	子育て応援枠	
対象者	すべての県民 (子育て世代含む)		18歳以下の子どもがいる世帯	
販売単価	一口6,250円分を 5,000円で販売		一口7,500円を 5,000円で販売	
プレミアム率	25%		50%	
申込上限	1人あたり4口		1世帯あたり2口	

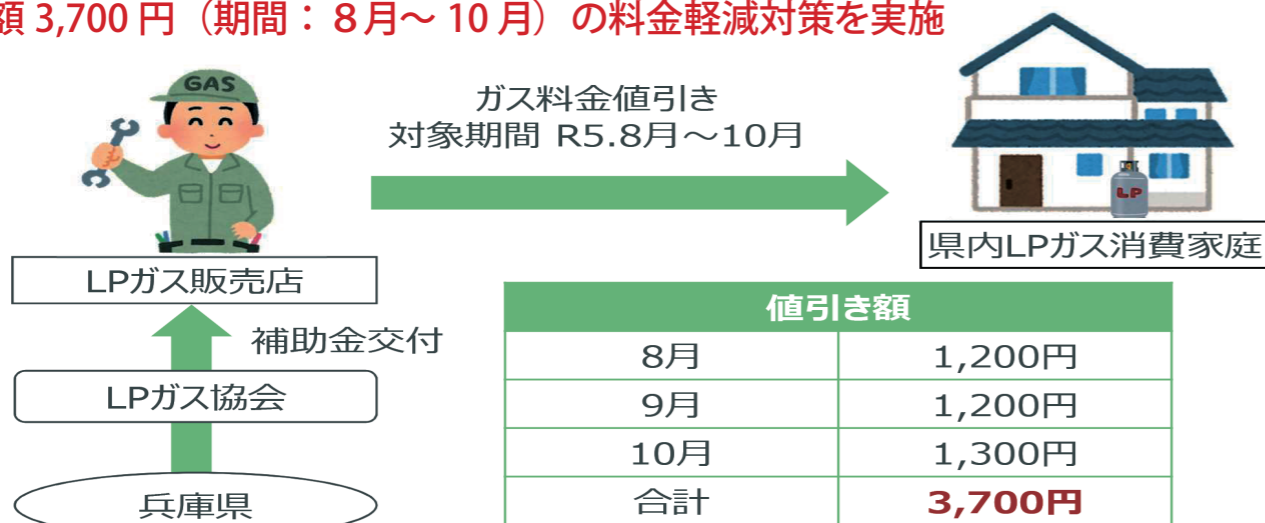
☆購入イメージ：お父さん、お母さん、小中学生の子ども2人の4人家族で総額50,000円分購入



・携帯電話販売店や市町等と連携し、高齢者などスマホの使い方に不慣れな方へのサポートを実施

LPガス販売事業者を通じたLPガス利用者負担の軽減：17.7億円

- 国支援の対象外となるLPガス利用者に対し、販売事業者を通じ、1契約あたり総額3,700円（期間：8月～10月）の料金軽減対策を実施



子ども食堂の運営支援：600万円

- 物価高騰により増加する食材費等を支援



県庁でもフードドライブが行われました

ひょうごフードサポートネット・アウトリーチ推進支援：500万円

- ひょうごフードサポートネット参画団体による食材や弁当を生活困窮世帯等へ届ける取組（フードバンク・ドライブ）を支援

学校給食費等の負担軽減に対する支援：1,500万円

- 学校給食費の令和5年度における増額分を保護者等に補助

社会福祉施設等における光熱費等高騰対策：11.9億円

- 光熱費・食費の高騰による利用者負担の増加を抑制するため、一時支援金を支給
 ※定員10～19人の特別養護老人ホーム・障害者支援施設 22.5万円
 定員30～39人の保育所 12.6万円 等

障害者施設で製作された商品等の販売促進：800万円

- 原材料費の増加による工賃への影響を軽減するため、授産商品の販売力を強化
- ・県内各地で、複数の障害福祉サービス事業所が授産商品を販売するイベントを開催(R5.9月～R6.2月)



皆さまからいただいた意見、要望は補正予算による事業化を求めるなどスピーディに対応します

事業者の経済活動への支援

特別高圧電力を利用する中小企業等への支援：32.3億円

- 国の電気・ガス価格激変緩和対策の対象とならない特別高圧電力で受電する県内中小企業等への支援として、高圧電力利用事業者に対する国の支援に準じた負担軽減対策を実施
- ・支援単価：4月～8月:3.5円/kwh、9月:1.8円/kwh(国の高圧電力に対する支援単価並。10月開始予定)

中小企業等における新事業展開への支援：1.1億円

- デジタル化・省人化によるコスト削減に資する設備を導入し、新事業へのチャレンジに取り組む県内中小企業者を支援する「デジタル化・省人化推進枠」を創設
- ・対象要件：対象1ヶ月の売上高が、基準1ヶ月と比較して10%以上減少 等
- ※ R5.1月以降とR2～R4年同月で比較
- ・補助金額：35万円、50万円、75万円（事業費に応じて定額）
- ・対象経費：システム導入費、設備導入費、広告宣伝費 等